

議 事 録

1. 会議の名称 第1回 池田市幼児教育審議会
2. 開催日時 平成29年3月8日(水)
午後1時～午後3時
3. 開催場所 池田市役所 5階府大会議室
4. 出席者
《委員》9名 ※会長：◎ 副会長：○
◎青木委員、○藤原委員、東平委員、岡村委員、
湯浅委員、北谷委員、坂上委員、長濱委員、
藤井委員

《教育委員会》1名
田淵教育長

《事務局》10名
亀井管理部長、齋藤教育部長、阪教育部次長兼教育
センター所長、荒河学校教育推進課長、鈴木教育政
策課長、西山教職員課長、干川総務・学務課長、光
武総務・学務課副主幹、中山総務・学務課副主幹、
住野総務・学務課主任主事

《関係部局》4名
岡田子ども・健康部次長、藤井子ども・健康部次長
兼子育て支援課長、衛門幼児保育課長、五十嵐子ど
も・若者政策課長
4. 議 題
(1) 委員の委嘱について
(2) 会長・副会長の選出について
(3) 諮問について
(4) その他
5. 議事経過 別紙のとおり
6. 公開・非公開の別 公開
7. 傍聴者数 1名
8. 問合せ先 池田市教育委員会 管理部総務・学務課
(072) 752-1111 内線425・426
(072) 754-6291 (ダイヤルイン)
E-mail k-somu@city.ikeda.osaka.jp

第1回池田市幼児教育審議会 議事録

日 時 : 平成29年3月8日(水) 午後1時～午後3時

場 所 : 池田市役所 5階府大会議室

1. 開 会
2. 教育長挨拶
3. 委員委嘱
4. 出席者紹介
5. 会長・副会長選出
6. 会長挨拶、副会長挨拶
7. 傍聴の定員について
8. 諮 問
9. 市立ひかり幼稚園及び市立なかよし幼稚園の認定こども園化について

【事務局】

池田市の現状について【事務局から説明】

【会長】

ただいま事務局の方から説明がございましたが、これについて何かご質問・ご意見ございますか。

急に言われて、なかなかご意見も出にくいと思いますが。次の資料は、国の認定こども園化との絡みもあるようですので、引き続いて、認定こども園化について、ご説明いただけますでしょうか。

【事務局】

認定こども園化について【事務局から説明】

【会長】

今、認定こども園化について説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

今の説明を聞きますと、幼保連携型の認定こども園を進めていきたいということですね。従来の幼稚園や保育所とは異なるようですけれども、ご質問等はございませんでしょうか。

【委員】

今、初めてお話をお伺いして、今の私立幼稚園の現状もふまえてお話させていただきますと、今の説明にもありましたように、ほとんどの園で定員割れが続いている状況です。そのことについて、池田市全体でどのようにカバーしていくのかを考えていけないといけないと思います。定員の変更も考えておられる中で、(公私立が)子どもの取り合いになったりしていやな関係になるのではなく、お互いに協力し合える関係にしていきたいと思います。あと、認定こども園という話で、3歳児保育の話にもなってくると思いますが(公立幼稚園が)3年保育をするのがいいとか悪いとかではなく、(平成16年に)4つの幼稚園になられたときにも保育料の問題や、バスを出されるということで当面の間は無料にされるというお話もありました。また、認定こども園は、幼稚園と保育園のよさを持ちあわせているというお話もありましたが、仕事をされている方で認定こども園に行かせたいという方もいらっしゃいますし、幼稚園には幼稚園のよさがあるので、そのまま残してほしいという方もいらっしゃいます。今後も、私立幼稚園で認定こども園になる園もありますが、今現在も1号認定の定員が割れているところも多いので、そのバランスなんかもふまえて、検討していただければなあと思います。当園も、この資料をみると定員をオーバーしていますが、3分の1は箕面市から来られていて、池田市の方だけでみると定員割れしていて、(243人中)140人~150人、多くても160人ぐらいかなと思います。また、この時期でも、3歳児の募集をかけているところが大半ですので、そのあたりのことも踏まえて、またご相談させていただければと思います。

【副会長】

過去の審議会の答申にも、公立幼稚園と私立幼稚園の整合性を考慮して、今後も進めていくようにということが書かれていて、これは継承されていると考えておりますので、今言っていたいただいたようなご意見を参考にしながら進めていきたいと思います。

【事務局】

ただいまのご意見についてですが、まず3年保育については、今後の検討課題であると常々認識しております。今回の認定こども園の定員については、1号、2号、3号を受け入れますので、その定員のどれくらいが妥当かというところを検討していただきたいなと思います。保育料につきましては、今まで公私間格差というものがあまして、この3月議会で資料7にありますように、新制度に移行する私立幼稚園と公立幼稚園の格差はなくしていこうと考えております。また、先ほどもありましたが、公私間バランス、公私共存ということは十分に認識しているところでございます。

【会長】

よろしいでしょうか。定員につきましては、次回の審議会での検討課題かなと思っております。ほかに、認定こども園化について、ご意見やご質問はございませんでしょうか。

【委員】

公立幼稚園の状況というところで、質問をさせていただけたらと思います。資料5を見ますと、4歳児と5歳児の人数がのっていますが、以前は公立幼稚園も抽選をしなければならぬような状況になっていたかと思うのですが、最近は4歳児より、5歳児の希望の方が多いのでしょうか。今回たまたま5歳児の人数の方が多くなったのでしょうか。そのあたりの状況がよくわかっていないので、教えていただければと思います。

【事務局】

ただいまのご質問ですけれども、4歳児、5歳児の状況ですが、公立幼稚園では2年保育を実施しており、4歳児で入園された方は、引き続き5歳児も通われますので、人数は、そのときの願書を出された状況によっているものでございます。5歳で引越してこられたり、他の園から来られる方は数人いらっしゃいますが、基本的にはあまり変わらないものと認識しております。

【会長】

他にご質問等ございませんでしょうか。

呉服保育所、ひかり幼稚園、なかよし幼稚園の名前が挙がっていますが、なぜそこののでしょうか。

【事務局】

まず、なかよし幼稚園は、平成16年4月に幼保一体化モデル園として開園しました。市内で唯一の幼稚園と保育所の一体型施設で、10年をこえる運営実績があることから、今回、幼保連携型認定こども園への移行を検討しております。ひかり幼稚園につきましては、3園の中で施設規模が一番大きいことと、直線で約300メートルの場所に呉服保育所があり、呉服保育所とひかり幼稚園を統合し、幼保連携型認定こども園とすることを検討しております。

【会長】

他にご質問等ございませんでしょうか。

【副会長】

認定こども園になったときに、0歳児から3歳児に対してはどのような保育をされて、4歳児、5歳児には、どのような教育、保育をされるのでしょうか。認定こども園になった場合の教育、保育内容の違いを具体的に示していただけるとわかりやすいのかなと思います。

【事務局】

認定こども園ですが、今回検討しておりますのは、幼保連携型認定こども園でして、教育と保育の機能をあわせもった単一の施設ということでございます。何が変わるかと言いますと、質の向上というのはもちろんのことですが、例えば、幼稚園教諭と保育士資格をあわせもった職員になったり、食育の観点から、自園給食が基本となったり、子育て支援センター的な役割を果たすものになったりということから、質の向上に向かっていくのではないかと考えてるところでございます。

【副会長】

続けてですが、その中で、子どもにとってのメリット、保護者のメリット、教育・保育をする側のメリットというのは、どのようなもの考えられるのでしょうか。

【事務局】

子どもにつきましては、0歳から就学前まで、継続して同じ施設で教育・保育を受けられるということ、保護者についても、転園することなく利用できることがメリットであると考えております。

【副会長】

財政的なメリットは、どのようにお考えでしょうか。

【事務局】

基本的には、公立の幼稚園ですので、市の単費で運営しているものでございます。あと、呉服保育所は、土地を借り上げておりますので、ひかり幼稚園と統合することによって、そちらの費用がなくなるということで認識をしております。ただ、保育室の拡充であったり、自園の給食調理室をつくる場合に、費用がかかってくることになります。

【委員】

現場の先生の声とかをまたお聞かせいただけたらと思います。認定こども園になると、幼稚園と保育所が一体となるということで、行事であったり、保育内容であったり、職員の取り組みの方法など、大きく異なるところがあると思います。保育園でされている保育と幼稚園でされている保育を今後どのようにされていくのか。あと、仕事をされ

ている方でしたら、行事をする時間が違ったり、幼稚園と大きく変わってきて、バランスがとりにくい状況が出てきます。それを現場の先生たちはどのように考えてられるのか、また次回で結構ですので、教えていただけたらと思います。

【会長】

実際、認定こども園になってから出てくる問題もあるかと思いますが、保育内容、教育内容については、また次回お願いしたいと思います。

【委員】

私は、公立幼稚園の園長をしていますが、まず、ひかり幼稚園と呉服保育所の認定こども園化についてですが、保護者のニーズがどうなのかなというのが気になるところです。なかよしこども園では、幼稚園籍と保育所籍の子どもがいて、PTA がありました。どうしても仕事の関係で短時間の保護者の方に負担がかかってしまったり、ちょっとしんどいところが出てきたりはしていますが、なかよしこども園はもう10年になりますので、そのあたりは、うまくバランスがとれてできているように思います。幼保連携型認定こども園ということですので、やはりこれは教育が重要です。教育委員会のお力添えが必要だと思います。教育せよということを言われていることですから、このところはよろしくお願いしたいと思います。

【関係部局】

保育ニーズということですが、平成27年から子ども子育て支援新制度が始まりまして、さらに高まりをみせております。それとあいまって、総活躍ということも国が進めておりますので、就職を希望される方がどんどん増えてきているということもありまして、平成27年度から求職中の方についても、保育所の申し込みができるようになり、池田市におきましても、昨年4月に初めて待機児童が発生したという状況でございます。保育を担う立場の人間としては、どこを探しても預かってもらえるところがないという中で、幼保連携型の認定こども園化につきましては、教育の部分とシェアができるということで、そのへんの部分で進めていただけたらという思いです。

【関係部局】

先ほど、ひかり幼稚園を選択した理由というお話があったと思うんですが、待機児童は、池田地区に多くて、石橋地区につきましては、民間の幼稚園さんが認定こども園に移行されたり、今後もそういう計画がございますので、保育の部分ではある程度の受け皿が確保できるんですけれども、池田地区は、今のところ受け皿の確保の見込みがございません。呉服保育所は昭和50年にたちまして、かなり施設が老朽化して手狭になっている関係と、先ほど事務局が申しましたように借地になっておりまして、

毎年費用がかかる。そのようなところで、ひかり幼稚園の認定こども園化を選択したものでございます。

【委員】

ひかり幼稚園が認定こども園になると、送り迎えが出てくると思いますが、そのあたりはどのようにお考えなのでしょうか。お仕事されて電車で帰ってこられて、お迎えに行かれると思いますが、駅から少し距離がありますので、その地域に住んでられる方にとったらいいと思うのですが、池田市全体でみると、今後どのようになっていくのかなと思ひまして。

【会長】

課題があるということで、事務局の方よろしくお願ひいたします。ほかに何かございませんでしょうか。

【委員】

私の子どもたちは、公立幼稚園でお世話になりました。私立を選んだ場合は、市からの補助があるのでしょうかね、それで公立と同じぐらいの金額になるので、私立に行くというのを聞いたことがあるのですが。認定こども園になると、預かりの値段っていうのはどうなるのでしょうか。そのへんが気になるところです。

【委員】

上の子が小学生で、下の子が幼稚園でお世話になっているという保護者の立場からの意見なのですが、幼稚園の定員割れの問題と、保育所の待機児童の問題がうまく合わさるということなんですよ。今、色々とお話をお伺いすると、いい面ばかりなのかなという感じなのですが、全くデメリットというものは無いものなのかなと思ひました。

【副会長】

もし、ひかりと呉服が認定こども園になると、3年間の教育をされるわけですよ。今の幼稚園は、4歳児と5歳児に教育をされていますが、認定こども園になると、3歳児から教育を受けられることになるのでしょうか。

【事務局】

認定こども園になりますと、3号認定を0～2歳児、2号認定を3～5歳児、1号認定を4歳児、5歳児で受け入れることを検討しております。

【副会長】

具体的に、1号とか2号とかの違いは。

【事務局】

1号認定は、保育の必要性のない方で、公立や私立幼稚園に行かれています。2号認定は、保育の必要性のある方になりますので、認定こども園の中で、1号認定と2号認定の定員が設けられていくものだと認識しております。

【会長】

定員については、次回具体的に検討していくことになると思います。

【委員】

3歳児は2号のお子さんで募集をされて、4、5歳児は1号と2号のお子さんで募集をされるということでよろしいのでしょうか。今のなかよしこども園と同じような感じという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

そうです。

【委員】

今、なかよしこども園とひかり幼稚園の名前があがっていますが、ひかり幼稚園は、ちょうど私の教え子たちが親になって戻ってきていて、ひかり幼稚園に行きますという話もよく聞きます。こども園自体は、子どもにとってもいい教育だと思います。先ほど、数字的なことは色々とお伺いしましたが、数字で解消して、子どもたちにとってどれだけいい教育ができるのかなあと思っています。仕事をされている方は、駅に近いというのが一番のメリットで、神田は駅から相当距離があるので、自転車や車を使うにしても、毎日のことなので、こども園になって、ひかりのこども園に本当に行くのかなあと思っています。それから、教育内容がどのようになるのでしょうか。制度的なことはわからなくもないですが、子どもにとって一番いい幼児保育をしなければいけないのは、公立であれ私立であれ一緒です。池田市の子どもたちがどのように育てほしいか、どんな大人になってほしいのかという教育内容が見えてこないのも、もう少し詳しくお伺いできればと思います。なかよし幼稚園がなかよしこども園になるときは大変でした。PTAの選出から始まって、教育内容、行事等、本当に大変だったんです。その大変なことを誰がしたのか、それは現場の先生でした。その大変なことを教育委員会も一緒になってやってもらえるのかとか、不安の方が大きいなと思って聞いていました。

【委員】

ひかりの認定こども園という話になってきたときに、送迎バスとか、今の幼稚園の機能がそのまま残って、1歳や2歳の子どもたちの利用も可能になってくるのか、また、今の幼稚園の定員は195人ですけれども、施設面で手を加えて、0歳児から受け入れるということであれば、総数としては増えていくのか、定員の話はこれからだと思いますが、今の幼稚園のもっているサービスがそのまま継承されていくのか。そのあたりをどう考えてられるのかを教えていただければと思います。

【会長】

今ご意見がありましたように、色々と課題はありますが、ひかりについては、設定された理由としては、特にキャパの問題が大きいのかなと把握したところですが、他にご意見はございませんでしょうか。

【委員】

今回、教育委員会の方で、こういった提案をされたわけですが、平成27年度から新制度が始まり、幼保一体化というのが大きな流れであり、私立については、市内でも宣真幼稚園、来年度から亀之森幼稚園、計画されているのが2園ありまして、石橋文化幼稚園、旭丘幼稚園です。こども園化については、定員についてを若干調整するわけですけれども、子育て支援の拠点として、地域に貢献できるということになりますので、私としたら、進めていただきたいと思います。

【会長】

他にございませんか。今色々とお話をお伺いしましたが、課題や提案という形で、ひとつとしたり、教育内容の問題、送迎の問題、それから、保護者のニーズの中で、待機児童の解消も含めてお話が出ていたかと思います。定員の問題や施設の問題は、次回ということにしたいと思いますが、おおまか委員さんのご意見をお伺いすると、認定こども園化の方向としては、望ましいんじゃないかなと把握したのですが、その方向で進めていただいて、今出たような課題を検討していただくというかたちにしたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。定員の問題については、次回の審議会でも検討していきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

(異議なし)

10. 次回開催日時について

【会長】

では、そのように進めていきたいと思います。事務局から、次回の連絡をお願いします。

【事務局】

次回の審議会は、3月27日～4月7日の間で調整させていただきたいと思います。

【会長】

それでは、また調整をお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。

11. 閉会